

## リアルタイムOS HI1000/4 V.1.04 Release 00への リビジョンアップのお知らせ

リアルタイムOS HI1000/4をV.1.04 Release 00にリビジョンアップしました。

### 1. リビジョンアップ対象製品

H8SXファミリ、AE-5シリーズ

HI1000/4 V1.0.05, V1.0.06, V.1.01 Release 00, およびV.1.03 Release 00

### 2. リビジョンアップ内容

#### 2.1 サポートMCUの追加

従来のH8SXファミリおよびAE-5コアに加えて、H8Sファミリをサポートしました。

H8Sファミリ用のサンプルプログラムも追加しました。

#### 2.2

#### 不具合改修

以下の問題を改修しました。

問題：

サービスコールトレース機能を使用すると、誤ったサービスコールトレース情報を取得する場合があります。そのため、デバッグングエクステンションのRTOSトレースウィンドウで誤った情報を表示します。なお、サービスコールトレース機能以外のカーネルの動作には問題ありません。

発生条件：

以下の条件をすべて満たす場合に発生します。

- (1) コンフィギュレータで、サービスコールトレース機能のタイプ (CFG\_TRCTYPE)に「ターゲットトレース(短縮)」または「ツールトレース (短縮)」を使用している。

- (2) 以下のいずれかのイベントがある。
- a. ixxx\_yyyサービスコールからの復帰イベントがある。  
(この場合、Event値 (サービスコールのリターンコード) の取得を 誤ります)
  - b. 非タスクコンテキストからタスクコンテキストの復帰で、現在 実行中のタスクが他のタスクに切り替わっている。  
(この場合、切替先のタスクIDとそのEvent値の取得を誤ります)

## 2.3 機能改善

- (1) 共有スタック機能の使用の有無にかかわらず、共有されるタスクスタック に共有スタックの管理領域として8バイトをとっていましたが、共有スタック機能を使用しない場合はこの管理領域8バイトをとらないように変更しました。
- (2) ヘッダファイルや各マイコン品種用サンプルプログラムなどを格納する ディレクトリ構成およびサンプルプログラムのファイル名を変更しました。

## 2.4 ユーザーズマニュアル改訂

改訂版 (第2版) を同梱しました。ファイル名は以下のとおりです。

和文 : RJJ10B0108-0200H.pdf

英文 : REJ10B0129-0200H.pdf

## 3. リビジョンアップと購入方法

### 3.1 リビジョンアップ (無償)

対象製品をお持ちの場合、無償でリビジョンアップできます。ダウンロードサイトから製品のインストーラをダウンロードして実行してください。

### 3.2 新規購入

ご注文の際には、以下の情報を最寄りのルネサス販売または特約店までご連絡ください。

価格については最寄りのルネサス営業または特約店にお問い合わせください。

<b>製品名</b>	HI1000/4
<b>発注型名</b>	R0R41600TRW01w

バージョン番号	V.1.04
リリース番号	Release 00
製品の使用環境	Windows XP, Windows Me, Windows 98, Windows 2000, またはWindows NT 4.0

注意: 発注型名のw(小文字のダブルユ)は、以下の契約形態を示す記号と置き換えてください。例えば、本OSを組み込んだ製品を1,000台まで量産する場合で、かつソースコードが不要な場合の発注型名は R0R41600TRW01Kです。

記号	契約形態
1	評価ライセンス、1台のホストコンピュータにインストール可能
5	評価ライセンス、5台のホストコンピュータにインストール可能
A	評価ライセンス、10台のホストコンピュータにインストール可能
K	量産ライセンス、組み込み数1,000台まで、ソースコードなし
U	量産ライセンス、組み込み数制限無し、ソースコードなし
Z	量産ライセンス、組み込み数制限無し、ソースコード付き

#### [免責事項]

過去のニュース内容は発行当時の情報をもとにしており、現時点では変更された情報や無効な情報が含まれている場合があります。ニュース本文中のURLを予告なしに変更または中止することがありますので、あらかじめご承知ください。